



医療法人伯鳳会
大阪中央病院

「虹」

Vol.6

2021. 11月



特集

内科・耳鼻咽喉科特集！

病院は多くの診療科でささえられています。



今回は主軸である内科と
脇で個性を光らせる

耳鼻咽喉科特集です！



生活習慣病の治療介入開始はお早めに！

内科部長 美内 雅之

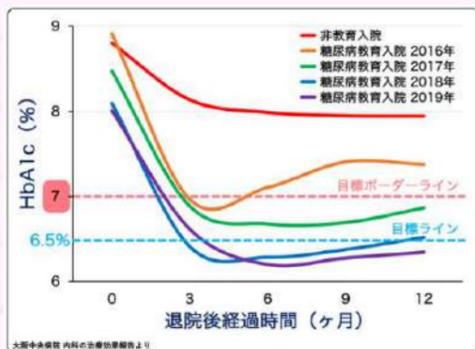
近年、新興感染症によって病状の重症化が注目されています。基礎疾患である肥満、血圧異常、糖代謝異常および脂質異常の疾患管理の重要性に着眼点に移りつつあり、基礎疾患の管理が不十分であると、感染症もですが、本来の合併症が進展悪化します。後手に回るほど、その治療内容は難渋し、最終的には対処療法に選択肢が狭まります。重症化する手前、比較的早い時期に自身の疾患に向き合うことで治療介入の選択肢が広がります。

現在、我が国には、基礎疾患の有病者がおおよそ20~30%存在しています。しかし、健康診断などで異常を指摘されてもなかなか病院受診に至らず、必要な検査や治療を受けない人が多く、基礎疾患の管理の最初の障壁となっています。

	男性 (%)	女性 (%)
過体重 (肥満指数BMI \geq 25kg/m ²)	33.0	22.3
血圧異常 (収縮期血圧 \geq 140mmHg)	29.9	24.9
糖代謝異常 (HbA1c \geq 6.5%)	19.7	10.8
脂質代謝異常 (総コレステロール \geq 240mg/dl)	12.9	22.4

令和元年 国民健康・栄養調査より

糖代謝異常はやがて糖尿病に進展悪化していきます。正常高値血糖値や境界型糖尿病の方(糖尿病の診断前段階)は、翌年の健康診断へ向けて生活習慣を立て直すなど、次の努力が重要です。自身の環境変化がなければ、検査データの改善は見込めません。この環境変化はきっかけ次第であるということが、多くの医療機関を受診した人のデータ推移から伺えます。当科の場合、糖代謝異常を指摘された人の2次検査を外来で実施し、糖代謝異常の状況と一緒に確認します。検査の結果、糖尿病と診断された方は、まずは糖尿病教育入院をお勧めしています。①血糖異常の原因検索+②糖尿病と生活習慣病の知識整理+③合併症の精査加療。①~③の3本の矢を我々も修行してスタッフ一同で精査治療技術を研磨しています。その甲斐もあって、退院後の血糖管理は目標の<7%(6.5%付近)をおおよそ1年間は得られる環境に整ってまいりました(1/3の人が無投薬)。環境変化が必要な人は、まずは当科までご相談ください。



大阪中央病院めまい外来

『めまい入院』は数時間の検査を受けるのが辛い患者さんや、結果をより丁寧に聞きたい患者さんが希望されれば選べるオプションです。

基本的には入院なしで検査を受ける患者さんが多いです。

1泊2日が基本になりますが、当院は病室も綺麗でなによりも景色が良かったため、少し日常から離れてリラックスした気持ちで検査を迎えていただければ幸いです。

検査は、数種類の検査になるため時間的負担や身体的負担、金銭的負担をおかけすることになりますが、丁寧に一人一人時間をかけて結果を説明させていただきます。その結果を踏まえて今後の方針を決めていきます。

ふらつき・めまいがあれば診察時間内であれば、他院からの紹介状なしでも受診できるため、一度耳鼻咽喉科にご相談ください。

耳鼻咽喉科医長 白石 功

めまい検査の結果用紙

【検査日】 年 月 日

【人のバランス】

視覚 体制感覚 内耳

シェロング試験 【血圧・脈拍の変動】

寝た状態	血圧	脈拍数
立った直後	/	回
立って5分後	/	回
立って10分後	/	回

側頭骨CT: _____

頭部MRI: _____

重心動揺検査: _____

全身の骨や筋肉へ

【内耳】

蝸牛 (聴力)

右: dB
左: dB

耳石器 (重力・直線加速度)

①球形嚢 上下
②卵形嚢 前後・左右

①oVEMP 右: 左: AR: %
②oVEMP 右: 左: AR: %

三半規管 (回転運動)

カオリック 右: 左: CP: _____

めまい外来への受診をお待ちしています。



見てみぬふりは、もうやめた。
誰ひとり取り残さない誓いをこころに。

地域との架け橋へ 青いハートの「おせっかい」をはじめました

令和3年8月10日より、誰もが暮らしやすい社会を目指す「プラスハートアクション」を伯鳳会グループの全施設で開始しました。私どもは常に最善の医療・介護を提供しておりますが、全てを元通りにできるわけではございません。病気や障がいをお持ちの方、治療を終えられた方でも、外見からそのつらさは分らず、病院の外で不安と孤独に苦しんでいる方がいます。少し体調がすぐれない時であっても、助けを求めることは簡単ではありません。困ったときはお互い様。医療従事者に限らず、声を掛ける、寄り添うだけで大きな安心に繋がります。誰にでもある「助けてほしい気持ち」を表明する「青いハート」をシンボルに、私どもと共に「おせっかい」になっていただければ幸いです。今後も伯鳳会グループは、平等医療・平等介護を原点に、だれもが暮らしやすい社会の実現に貢献してまいりますのでご期待ください。

#青いハートがあふれる社会を

【編集後記】

今回は内科の糖尿病と耳鼻咽喉科のめまい特集です。ともに現代社会のストレスが少なからず影響している疾患です。当院はその立地と健診を重点的に行っていることから会社勤めの方が多く受診されています。これらのストレスがかりやすい方々も含めて皆様に気軽に専門的な治療を受けていただけるようにこれからも努力していきます。



患者様よりご寄附を賜りました



この度、関井副院長が長年ご担当されている患者様 小林 正利様より、当院の医療活動に対し温かいご理解を頂き、多額のご寄附を賜りました。なお、小林様からのご寄附は昨年9月に引き続き三度目となります。10月6日、そのご芳情に感謝の意を含め、根津院長から小林様へ感謝状をお贈りいたしました。頂いた寄附金は、今後の当院の円滑な運営のために有効に活用させて頂く事とし、ご寄附の意に沿えるよう、今後も職員一丸となってより良い病院づくりに取り組んでまいります。

病院レポート「虹」

2021年11月発行 Vol.6

編集・発行 医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505(代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域医療連携室

TEL 06-4795-5533(直通)

FAX 06-4795-5535(専用)



「信頼・調和・揺らぐことのない愛」をシンボルに
具体的な助け合いのカタチを分かりやすく示し
全ての方が暮らしやすい社会を目指す活動



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

HAKUHOKAI Osaka Central Hospital



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP

伯鳳会グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



病院ホームページ